



EUROPEAN DAIRY

Ireland, working with nature 

ENJOY
IT'S FROM
EUROPE



Co-funded by
the European Union

BORD BIA
IRISH FOOD BOARD

信頼のヨーロッパ乳製品

ヨーロッパの酪農業が提供する製品は、食の安全、トレーサビリティ、動物福祉、そして持続可能性における最高の世界基準により、業界で最も優れた実例を体現しています。

ヨーロッパにおける乳製品の生産は、世界で最も厳しいとされるEUの食品安全法に支えられています。

EUの食品安全政策は、食品が農場から食卓に届くまでをカバーし、高い基準の動物衛生および動物福祉、明確な原産地情報やラベリングにより、安全で栄養価の高い食品を保証することを目的に策定されています。

「ヨーロピアン乳製品—アイルランド、自然との共生」キャンペーンは、欧州委員会とEU加盟国であるアイルランドが共同で打ち出した新しい取り組みです。3カ年計画を主導するアイルランドは、世界150カ国に高品質な乳製品を輸出しています。



Joe Moore (ジョー・ムーア)
マーケット・スペシャリスト
Joe.Moore@BordBia.IE

信頼のヨーロッパ乳製品

1億4,500万トン

EUは世界最大の生乳産出地域であり、その多種多様で高品質な栄養に富む持続可能な乳製品と、加盟国が厳しい安全基準を設定して遵守していることで知られています。2021年、EU加盟27カ国の全市場を合わせると、乳製品の生産量は約1億4,500万トンにのびりました。

88億リットル

2021年アイルランドは、88億リットルの生乳を加工し、世界約150カ国の市場に乳製品を輸出しました。

(出典: Bord Bia Performance and Prospects 2022 - Bord Bia 業績と展望2022)

No.1

2021年には、アイルランドは世界食料安全保障指標(GFSI)にて第1位を獲得しました。同指標は、113ヶ国を58項目で審査し、食品の購入のしやすさ、入手のしやすさ、品質、安全基準、天然資源、レジリエンスを考慮して算出されるものです。

目次

ヨーロッパの乳製品	3
アイルランドのヨーロッパ乳製品を選択する理由	4
アイルランドの乳製品生産	6
持続可能な乳製品保証体制	7
アイルランド	8
持続可能性	10
オリジン・グリーン	10
グラスフェッド基準	11
製品ラインアップ	12



食品安全性とバイオセキュリティ



EUの食品安全基準は極めて高く、またEUの食品法には、品質保証、トレーサビリティ、動物福祉、持続可能性に関連した厳格な規則があります。

EU規則では、成長ホルモンの使用が禁止されています。抗生物質やその他の薬物も厳重に管理され、必要不可欠な場合にのみ使用が可能です。

残留薬物が、食品のサプライチェーンに入り込まないように対策を行っています。

徹底したトレーサビリティ

EU 食品法の重要な安全義務として、製品の履歴追跡が可能であり、また製品が安全でないと判明した場合に回収可能であることが挙げられます。すべての乳製品が、供給農場から最終製品の完成までの履歴をたどることができます。

機能性、高い栄養価、美味しさ



アイルランドの乳製品は機能性と栄養価が高く、風味が良いため、実に汎用性が高く、さまざまなニーズに応えることができます。アイルランドの乳製品加工業者は、世界各国の顧客情報とその要望をもとに、この分野のリーダーとして乳製品の生産を熟知しています。

バター、チーズ、粉乳、フレーバー付き乳製品、その他生乳からの抽出製品など、様々なニーズに合う製品の生産に長けています。



実用例としては、家庭消費、店頭販売、外食サービス向け、原材料用、さらにはライフステージに応じた利用として、医薬品や機能性食品など、様々な用途があります。

牛乳の供給増加と品質向上

2015年にEUの生乳クォータ制度が廃止されてから、アイルランドの生乳生産量は着実に増加しています。2021年だけで増加率が6%を超え、88億リットルに達しました。こうした産乳量の増加に加え、近年ではアイルランド産牛乳の乳脂肪および乳タンパク質レベルの増加も見られます。

(出典: Bord Bia Performance and Prospects 2022 - Bord Bia 業績と展望2022)

動物福祉に配慮した農場

EUおよびアイルランドの市民は、動物福祉に大きな関心を持っており、動物倫理的扱いを重視しています。

EUの法律では、動物は知覚力のある存在、つまり喜びおよび苦痛を感じられる存在として認められています。

EUの動物福祉規定の根底をなす基本理念は、「我々一人一人に責任がある」というものです。動物福祉の規定は、各国政府によって厳重に施行され、各国が確実にその目的を達成できるようモニタリングが行われています。

獣医師の監督

EUの加盟国であるアイルランドは、非常に効率的な獣医師による監督システムを導入しています。食用に適すよう、全生産段階で最も高い法的な品質・安全基準を維持する目的で導入が図られています。

アイルランドの農業・食糧・海洋省は、法律遵守を実証するための監視・施行を実行しており、さらに第三世界の国々の市場に向けた輸出用乳製品の認定を行っています。

アイルランドの乳製品生産



アイルランドの乳製品の年間輸出額は **50億€** を超え、輸出食品・飲料品目の中でもトップの座を占めています。アイルランドは高品質の乳製品・原材料の生産で有名です。

(出典: Bord Bia Performance and Prospects 2022 - Bord Bia 業績と展望2022)

アイルランドの人口はおよそ500万人ですが、その数倍の需要をまかなうのに十分な量の乳製品を生産しています。同国の乳製品は、季節ごとに生い茂る牧草によって育まれ、高品質のバター、チーズ、粉乳製品の生産に注力しています。アイルランドはグラスフェッドバターの代名詞であり、その世界的評価をさらに高め続けています。

261,651トン

アイルランドの2021年のチーズ輸出量は261,651トンでした。特にチェダーチーズの生産で良く知られていますが、(出典: Bord Bia Performance and Prospects 2022 - Bord Bia 業績と展望2022) 同国の酪農業界はそれ以外の種類のチーズ、例えばモッツァレラやその他ヨーロッパ諸国のチーズの生産能力を増強し続けています。

また油脂添加粉乳、スキムミルク、カゼイン、全粉乳、バター粉乳などの粉乳製品や特殊栄養強化粉乳の生産でも、アイルランドは高評価を獲得しています。この分野の供給において必要な厳しい基準と規則を満たす高品質の乳資源と原料確保のため、栄養食品を展開する多国籍企業も同国に拠点を置いています。



持続可能な乳製品保証体制

持続可能な乳製品保証体制 (SDAS) とは、アイルランドのほぼ100%の酪農家が参加する国家レベルの酪農における取り組みです。SDASは品質保証要件のモニタリングを行い、農場が収めた達成結果のデータを集めて、国内各農場レベルでの酪農業の持続可能性を示しています。

またSDASは、アイルランドの酪農業がさらに進歩を遂げていけるよう、計画的にその進捗状況の監視を行っています。独立機関が18カ月ごとに各加盟農場を訪れて監査を行い、SDASを構成する「持続可能性」と「品質保証」という二つの重要基準をもとに、農場の達成結果に関する総合報告書を作成します。

アイルランドの酪農業

アイルランドの酪農業界は二世代以上にわたる家族農場経営の伝統のうえに成り立っています。

160万頭

2021年の乳牛飼育数は合計で160万頭、産乳量は1頭当たり5,648リットル、合計約88億リットルとなります。

64 ha

同国の酪農場の平均面積は64ヘクタール(0.64km²)で、乳牛の平均飼育数は91頭です。

17,000軒

こうした多世代にわたる家族経営農場は約17,000軒存在します。

アイルランド — 「食」の島

ヨーロッパ西端に位置するアイルランドは、メキシコ湾から暖かい海水を運ぶメキシコ湾流のおかげで、穏やかかつ温暖な気候に恵まれています。降水量も多く、ヨーロッパ屈指の長い生育期が得られるため、みずみずしく生い茂る緑豊かな地形が育まれ、乳牛を育てるのに最適な環境となっています。

アイルランドには理想的な農業要件が揃っているため、乳牛は年間平均して240日を牧草地で過ごし、牧草が95%を占める飼料で育てられます。

最適な気候

アイルランドは、その温暖な海洋気候のおかげで、同緯度にある他の地域で見られる極端な気温変動の影響を受けることはありません。冬は短く温暖で、夏は乾燥し過ぎず、また蒸し暑さとも無縁です。丘陵や山々の大部分は沿岸近くに位置しており、風や海流をしのぐ安全なシェルターの役割を果たしています。

このような好条件のもと、3月中旬から11月中旬まで、乳牛たちは緑豊かな牧草地を自由に歩き回ることができます。冬の寒い時期には、サイレージと呼ばれる保存食の牧草が与えられます。

天然水源

降雨や地中から自然に水を得ることができるため、農業目的で必要となる十分な水が確保できます。このため農場に水を引く必要がありません。降雨量は年間平均して1,750~2,400mmにおよび、そのため2月から11月にかけて最良な状態で牧草が育ち、乳牛たちの飼育に必要な量がまかなえます。

豊富な牧草

アイルランドの気候は牧草の成長に最適で、ヨーロッパでも抜群に長い時期にわたり牧草を栽培することができます。アイルランドの面積は690万ヘクタールで、そのうち64%が農地です。また農地の81%で牧草、干し草、サイレージを作っています。この永年放牧地は炭素貯蔵庫の役割を果たしており、さらにアイルランドの酪農家はさまざまな種類の草を栽培することで、生物多様性と動物の健康の向上を図っています。

澄んだ空気

アイルランド環境保護庁の算出によると、アイルランドの空気質健康指数(AQIH)はヨーロッパでも有数の高い値を示し、2021年には世界トップ20カ国にランクインしました。(出典: IQAir 2021) 空気質の最も高い値を0として10までの段階に分けた評価では、アイルランドはこれまで常に1~3の評価を獲得し続けており、農業に最適な環境が実現しています。

(出典: Environmental Protection Agency, 2022)

持続可能性

環境により優しい食品生産

持続可能性は世界中の消費者、小売業者、政府によってますます重要視されています。また、持続可能性はEUにおける農業発展の中核をなし、より多くの政策や法律に反映されています。

EUは今後10年間で、すでに世界で導入されている最も高いレベルの環境基準をもとに、遺伝的改良、施設改良、飼料効率向上、乳牛の健康向上を進め、EU加盟国全体の酪農業の持続可能性を強化します。

アイルランドはオリジン・グリーンを通じ、持続可能な農業におけるリーダー的役割を担ってきました。

Origin Green(オリジン・グリーン)

2012年に開始されたオリジン・グリーンとは、アイルランドの食品・飲料業界すべてを対象とした、国家的な持続可能性プログラムです。

世界で唯一、国レベルで実施されている食品・飲料業界の持続可能性プログラムであり、Bord Bia(アイルランド政府食糧庁)を通して、政府、民間、および食品生産者を結び付けています。

サプライチェーンの全段階にわたって適用されるこのプログラムは、独立機関によりすべての段階が検証されています。このプログラムにより、アイルランドの農業生産者、食品製造業者、小売業者、フードサービス事業者は、持続可能性に関する測定可能な達成目標—つまり環境負担を減らし、より効果的に地域社会に貢献し、またアイルランドの豊かな天然資源を保全するという目的を設定し、そして達成することができるのです。

340社

現在オリジン・グリーンの参加企業は340社を超えており、持続可能性計画は独立機関により検証され、年に一度モニタリングが行われています。これらの参加企業によるアイルランド産食品・飲料製品の輸出は、輸出額全体の90%を占めています。



グラスフェッド基準

グラスフェッド乳製品が優れている理由

グラスフェッド乳製品は、屋内飼育による乳製品に比べ、含まれる有益栄養素のレベルがより高く、健康的なライフスタイルの維持をサポートします。

(出典: Department of Agriculture, Food and the Marine 2020, 'Comprehensive review of the advantages and disadvantages of pasture-based feeding systems to the chemical composition, characteristics and quality of milk and dairy products')



環境持続可能性の向上

アイルランドにおけるグラスフェッド乳製品の生産により排出される牛乳1キロあたりの温室効果ガス量は、世界最少レベルを誇ります。

(出典: Teagasc 2021, 'Irish Dairying - Delivering Sustainability')



消費者は価格が高くてもグラスフェッド乳製品を選択する

世界の消費者の半数が、グラスフェッド製品かどうかを考慮して乳製品を選ぶと答え、また主要市場の60%を超える消費者が、グラスフェッド乳製品なら価格が高くても購入すると答えています。

(出典: Bord Bia/Ernst and Young Research 2018, 'Global Consumer Trends in Dairy')



動物福祉の向上

乳牛は、放牧場でより「自然のまま」の生活を送ることができます。

(出典: Animal, Volume 11, Issue 2, 2017, 'Review: welfare of dairy cows in continuously housed and pasture-based production systems')

グラスフェッド基準の目的とは？

Bord Bia(アイルランド政府食糧庁)が定めるアイルランド酪農業界を対象としたグラスフェッド基準は、世界で初めて独立機関が検証を行ったグラスフェッド認証制度です。この基準を満たす乳製品は、アイルランド島で牧草により飼育された乳牛の生乳を使用して生産されたものであるという安心を提供します。これにより、海外の消費者がグラスフェッド認証乳製品を進んで購入するチャンスが生まれます。つまり、消費者のグラスフェッド乳製品志向をますます促進させる重要な要因となるのです。

製品ラインアップ

バター	無塩発酵バター
	無塩スイートクリームバター
	有塩スイートクリームバター
	ホエイバター
固形乳脂肪	ギー
	無水乳脂肪 (AMF)
チーズ	ホワイトチェダー
	レッドチェダー
	レッド・レスター
	モンレー・ジャック
	カリアータ
	モツアレラ
	エメンタール
	その他
栄養補助粉乳	乳児用調製粉乳
粉乳	全脂粉乳
	脂肪充填粉乳
	バター粉乳
	スキムミルク
	脱脂粉乳ヨーグルトパウダー
	たんぱく質濃縮ホエイパウダー
	ホエイ
	ホエイパーミエート
	脱塩ホエイパウダー
	パウダー
	酸カゼイン
カゼイン	レンネットカゼイン
	カゼイン塩
	カゼインNa
	カゼインカルシウム
	脱脂粉乳/ホエイブレンド
配合粉乳	その他配合製品



乳製品原材料 — 塊の状態で生産・販売が行われ、一般的に製造設備内で他の原材料と組み合わせることで完成品となるものです。バター、チーズ、粉乳製品の種類が非常に多く、栄養豊富で口当たりの良い最終製品を提供するための重要な原材料となっています。



フードサービス用乳製品 — 特定の使用目的を視野に大きなサイズ単位で生産・販売が行われる品目です。バター、チーズ、粉乳製品の種類が非常に多く、典型的な形状としては、ブロックタイプ、パウダータイプ、スライスタイプ、ダイスカットタイプ、シュレッドタイプなどの製品があります。



小売業者がそのまま販売でき、消費者がすぐ飲食できる乳製品 — 消費者が直接購入・消費できる、より小さいサイズで生産される品目です。「持ち運びしやすい」形状で、食卓に出してすぐ、また冷蔵庫から出してそのまま飲食できる製品です。

Notes



EUROPEAN DAIRY
Ireland, working with nature



EUROPEAN DAIRY

Ireland, working with nature 

ENJOY
IT'S FROM
EUROPE



アイルランドのヨーロッパ乳製品に関する詳細については、
下記メールアドレスまでメールでお問い合わせください。

dairy@bordbia.ie



Co-funded by
the European Union

BORD BIA
IRISH FOOD BOARD

欧州連合 (EU) 協力キャンペーン。記載された見解や意見は開発者の見解のみを反映したもので、
欧州連合ならびに欧州研究執行機関 (REA) は、ここに記載された情報の使用に起因するいかなる責任を負いません。